

「大地の恵と海の幸」を最大限に活かす



中泊町長
濱館 豊光

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には清々しく新春をお迎えることとお慶び申し上げます。また、平素より町政の推進に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年4月の町長選挙におきまして、温かいご支援を賜り町長に就任させていただきました。責任の重大さを改めて感じているところでございます。昨年を振り返りますと、既決予算のなかではございましたが、7月に日本郵便さんと高齢者の見守りなどの相互協力協定の締結、メバルシリーズの「メバチン！」と「メバ焼き！」のデビュー、11月には北海道・東北で初となるマイナンバーカードを利用した自治体

ポイント事業の開始など、多くのご理解とご協力をいただき新しい施策に取り組むことができました。

さて、私自身初となる町の予算編成にあたり、先般、平成31年度までの「第2次中泊町長期総合計画」の実施計画を新たに策定したところでございます。本計画は、町の将来あるべき姿に向かっていくため、必要な施策を具体的に示したもので、今後の町政運営にあたり、とても重要な計画でございます。ご説明申し上げますと、産業振興につきましましては、農林水産分野で新たな産業の創出を図ることで第1次産業の振興を図り、就業者の所得向上はもちろん、安定した雇用場の確保して若年層の町外流出を抑制するものであります。また、再生可能エネルギーを活かした事業と、農業・漁業とのコラボレーションにより、その相乗効果を企図しております。

保健・医療・福祉につきましては、ガンなど病気の早期発見や生活習慣病を予防する体制を整備して健康寿命の延伸を図るほか、今後訪れる超高齢化社会に対応するため、保健・医療・福祉・住まい・交通などを「縦割り」ではなく、すべて連携した「青森県型地域共生社会」をモデルとした地域づくりに取り組めます。

また、心からお慶び申し上げます。平成30年の年頭にあたり、中泊町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また平素から町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、町の話題と致しましては、何と申ししても郷土の宝である関取2人の活躍。特に阿武咲関の三役昇進とその取り口は、目を見張るものがありました。本年も両関取のご活躍を期待しております。

昨年の印象に残っている出来事と言えば、北朝鮮の発射実験によるミサイルが日本上空を通過したこと。国民保護放送やアラートの警鐘サイレンが鳴り響くなど、日本中を震撼させるものであります。その後の日本海沿岸で相次ぎ発見された北朝鮮の漁船問題。町民の皆様も安心できない国際情勢に不安を抱いた年であったと思えます。

また昨年は、地方自治法70周年という大きな節目の年でありました。11月には天皇皇后両陛下ご臨席の下、東京国際フォーラムにおいて盛大に記念式典が催され、地方自治の意義と重要性を再認識した年でもありました。

昨今では、過疎化、少子高齢化、高度情報化、グローバル化など、社会の変化、世界の変化を踏まえて、国と地

また、当町は伝統的にスポーツの町でございます。現在も、大相撲において2人の幕内力士が活躍しているほか、各種アマチュアスポーツにおいても全国、東北、県大会などで活躍する多くのアスリートがおられることから、町民の誰もがスポーツ活動に親しむことができる環境整備に取り組めます。生活環境につきましては、地域間交流のための交通基盤や道路・情報・住宅などの生活基盤を整備するほか、防災・防犯・消防体制を強化し災害や雪に強い安全安心なまちづくりを進めていくものでございます。

町長に就任以来、まだ9か月ほどでございますが町政運営の現場に入り、改めて当町を取り巻く社会情勢の厳しさを肌で感じているところでございます。この度策定しました実施計画を基本として、「大地の恵と海の幸」を最大限に活かし、持続可能なまちづくりに鋭意取り組んでまいります。そして、長期総合計画で目指す「希望のまち」にご案内できるように1歩1歩前進してまいり所存でございますので、今後とも町民の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

皆様の御健勝と御多幸をお祈りし、新年の御挨拶といたします。

地方の役割分担が見直されました。地方の自由度を高める地方分権改革が進展し、地方公共団体は魅力ある地域を目指して創意工夫を凝らし、独自の施策の展開による町づくりが進められております。

現在、我が国の大きな課題は、少子高齢化であり、過去に経験したことのない事態に直面しております。昨年12月、政府は「人づくり革命」と「生産性革命」の実現に向けた新たな政策を打ち出したところであります。特に「人づくり革命」においては、当町が先行して取り組んでいる幼児教育・保育の無償化や、世帯の所得等に応じた高等教育の無償化など、町民の生活に直結する政策が盛り込まれるようであります。

当町においては、農業、林業、漁業といった産業の衰退が、過疎化、少子化の進展における大きな要因と考えております。昨年の稲作は、冷害の心配をよそに、平年並みの作付けとなり、米価も安定した価格で取り引きされたことから、ひと安心しているところであります。その一方で、漁業者は引き続きの燃油の高騰に加え、漁獲量が大幅な減少となり、深刻な状況にあると伺っております。私も議会人も産業の復活、所得の安定こそが、地域の活性化に繋がるものと存じておりますが、非常に難解な問題であります。

このような課題が山積する中、昨年4月、小野俊逸前町長から職務を引き継いだ濱館豊光新町長は、早速、役場

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

- | | | | |
|---------------|--------|-------------|--------|
| 中泊町副町長 | 横野 彰 吾 | 中泊町固定資産評価委員 | 佐藤 恭 一 |
| 中泊町教育委員会教育長 | 米塚 鈴 子 | 中泊町審査委員会 | 松坂 龍 美 |
| 中泊町選挙管理委員会委員長 | 田中 彰 一 | 中泊町農業委員会 | 長利 利 司 |
| 中泊町代表監査委員 | 葛西 昭 文 | 中泊町消防団 | 団長 |

職員意識改革に取り組み、今後様々な施策を展開しようと準備しているところであります。その施策の一部が、第2次長期総合計画「実施計画」としてまとめられ、町のホームページ上で公開されておりますので、是非ご覧いただきたいと存じます。

新しい年を迎え、平成30年は減反制度の廃止が決定されており、農業所得の低下を招かないよう、農家の皆様にとって良い方向に進むことを願い、要請活動を行って参りたいと考えております。

本年12月には、任期満了に伴い、私どもの町議会議員選挙が行われます。改選後は議員定数が2人削減されますが、まずは今年1年、しっかりと議会をまとめ上げ、重責を全うする所存であります。

私も町議会議員は、濱館町政を支えていくことはもちろんのこと、町民の代表として、果たすべき役割と責任を自覚し、活発な議会活動を通して、皆様の声を町政に反映して参ります。町民福祉の向上と町政発展のために努めていく所存でありますので、どうか引き続きのご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が町民皆様にとりまして、幸多き1年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

町政発展に向けて



中泊町議会議員
兵庫 桂 藏

